

## 平成26年度に建設工事で発生した事故事例（工具・資材による事故）

### 事故概要:

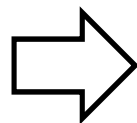
型枠組立作業のため、丸ノコで切断し、丸ノコを持ったまま次の作業に移ろうと丸ノコを引き上げた際に、丸鋸の刃先から取っ手にかけて備えられた安全保護カバーが、切断後に自動で戻るはずが戻らなかったため、作業ズボンに刃が絡まり、右足膝下を負傷した

### 事故原因:

- ・丸ノコの保護カバー収納部分に溜まった切りくずの除去を怠った
- ・刃の回転が停止していない状態で移動しようとした

### 改善対策:

- ・安全教育の徹底
- ・取扱説明書の安全上の注意事項を熟読させ遵守させる



分類: 型枠工、組立

被害状況: 2週間の加療(右足膝下切傷)

## 平成27年度に建設工事で発生した事故事例（墜落・転落による事故）

### 事故概要:

型枠組立作業において、地表より50cmの鋼管上で型枠用固定金具を取り付けていたところ、左足が滑ってバランスを崩し誤って転落し負傷した

### 事故原因:

・高さが50cmと低いことと、固定金具が軽量であるため危険性はないと過信した

### 改善対策:

・安全教育の徹底



分類: 型枠工、組立

被害状況: 3か月間の加療(外傷性頸髄損傷、四肢麻痺)

## 平成27年度に建設工事で発生した事故事例（工具・資材による事故）

### 事故概要：

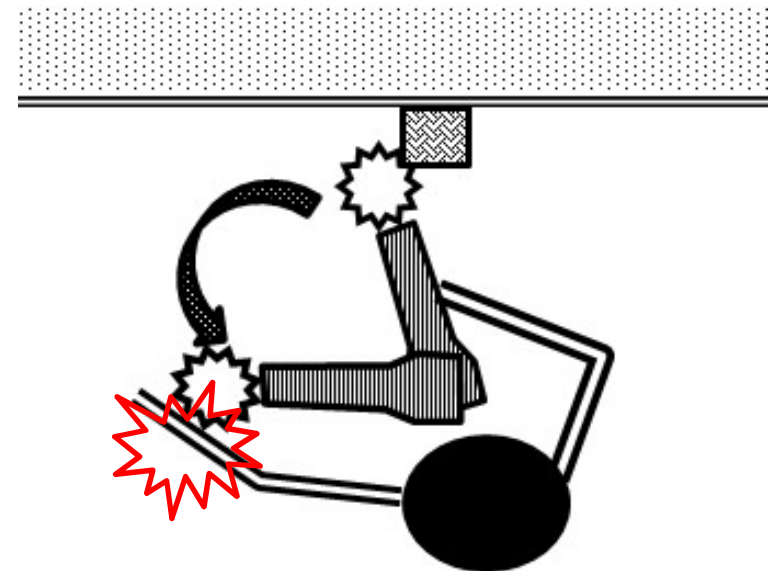
型枠組立作業において、縦桟木の上余剰分を切断する際に、作業員がディスクグラインダーに丸鋸を装着（工具の用途外使用）し切断していたところ、グラインダーがキックバックにより跳ね上がり左前腕部に接触し負傷した

### 事故原因：

- ・本人の不注意

### 改善対策：

- ・安全教育の徹底
- ・工具使用方法の点検の徹底



分類：型枠工、組立

被害状況：1週間の治療（左前腕部切創）

## 平成27年度に建設工事で発生した事故事例（墜落・転落による事故）

### 事故概要：

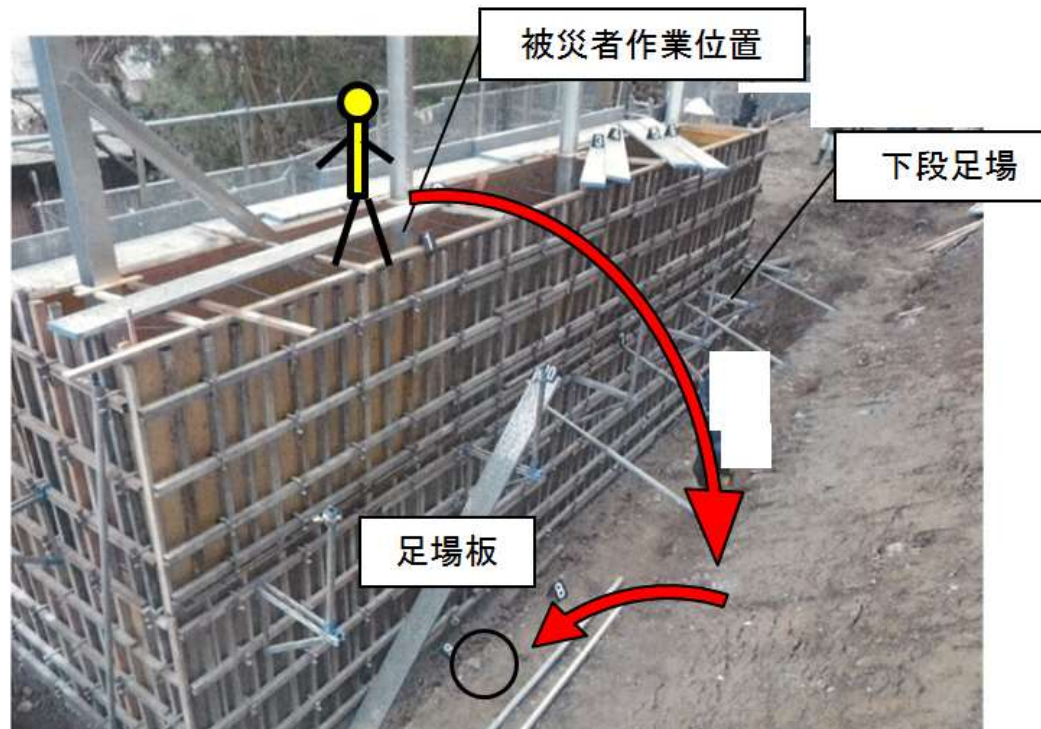
重力擁壁コンクリート打設のため足場を下段から上段に移設作業していたところ、下段の作業員から上段の作業員へ足場板の受け渡し作業中に、上段の作業員が転落し負傷した

### 事故原因：

- ・安全帯を使用しなかった
- ・必要な特別教育のない者を従事させた
- ・作業主任者が一時不在で監督が行き届かなかった

### 改善対策：

- ・安全帯の着用を徹底する
- ・必要な特別教育を受けた者を従事させる
- ・安全状況の監視を徹底する



分類：型枠工、組立

被害状況：頸椎損傷、第2頸椎骨折、上下肢の麻痺、呼吸筋の麻痺（人工呼吸器）

## 平成30年度に建設工事で発生した事故事例（転倒による事故）

### 【事故概要】

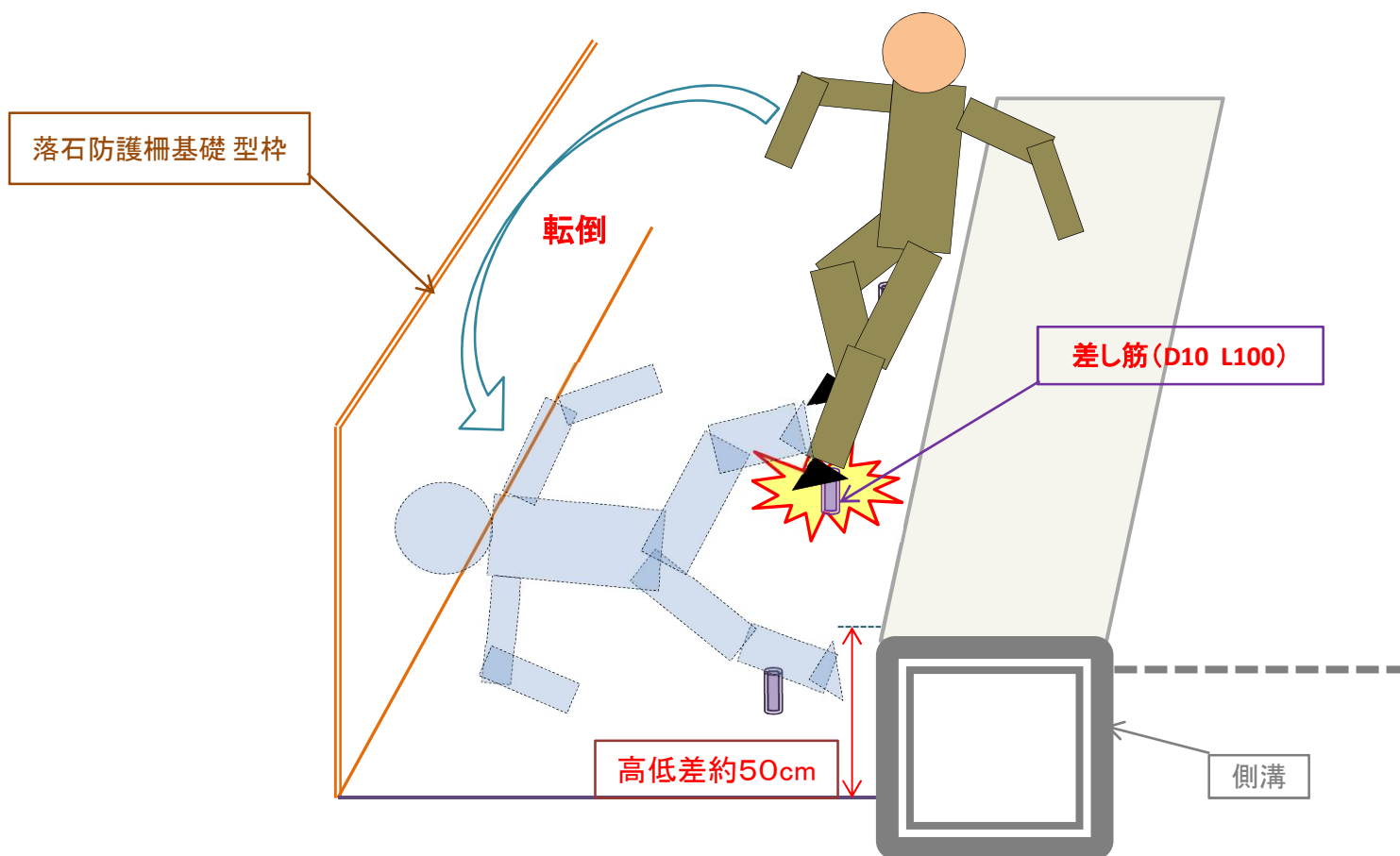
落石防護柵基礎の型枠設置の確認のため、型枠内（高低差約50cm）に降りようとしたところ、均しコンクリート上に設置した差し筋に足を引掛け転倒し、左足を負傷した。

### 【事故原因】

・普段の慣れから、降りようとした足元を確認しなかった

### 【改善対策】

・足元の安全確認の徹底



【分類】型枠、組立

【被害状況】左小趾基節骨骨折(保存的加療約4週間)

## 令和元年度に建設工事で発生した事故事例（工具・資材）

### 【事故概要】

型枠組立作業において、膝上で固定した型枠材を手鋸で切断したところ、勢い余って膝付近を切創した。

### 【事故原因】

- ・切断物を体(左足大腿部)で固定し、切断作業を行ったことが原因。
- ・事故となった作業が、前日の残りの軽作業であったことから、朝礼でのKY活動で扱わなかった。

### 【改善対策】

- ・切断物の固定は、確実な足元を確保し、安定した物の上へのせ固定し、体から離して作業を行うよう周知・徹底させる。
- ・軽作業に対しても危険予知を行い安全意識向上に努める。

事故再現状況写真



近くに、切断対象物を固定するのに適当な箇所がなく、自らの膝上で固定し、手鋸で切断作業を行った。  
固定に適した箇所、あるいは固定に必要なものを探す手間を省略した。  
(不安全行動)

【分類】 型枠工 型枠組立

【被害状況】 業者人身 1人 左膝切創(2週間の通院加療)

## 令和3年度に建設工事で発生した事故事例（工具事故）

### 【事故概要】

作業員が型枠組立て作業中、桟木を固定するため釘を打ち付けていたところ、釘芯をたたき損ねて釘が跳ね返り、自身の左目にあたり負傷した。

### 【事故原因】

・必要な保護具を使用せず、釘の固定ができていない状態で釘芯を打ち損じたことなど、被災した作業員の不注意により発生した。

### 【改善対策】

・型枠組立作業時の釘打ち作業では、保護メガネを必ず使用する。  
・釘の打ち込み時は、固定されるまで手を添え、固定後に打ち込む。  
・施工計画書及び作業手順書に、釘打ち作業時の安全事項を追記

### 事故現場状況写真



【分類】型枠工 組立

【被害状況】 業者人身 53歳 結膜裂傷 眼球打撲